

検討の手引き

I 『人はなぜ夢を見るのか：夢科学四千年の問いと答え』（渡辺、2010、化学同人）

「夢の論理と現実の論理はまったく違う。まったくちがうからこそ、人類は、夢の世界に容易ならぬ謎が隠されていることを予感し、文明発祥いらい、謎を解くべく、さまざまな方法論を編み出して来たのだった。本書の副題を「夢科学四千年の問いと答え」としたのも、それら方法論的な探究が、科学のひとつの源泉になったと考えるからにほかならない。……古くは紀元前四千世紀までその原型を求めることのできる、解釈学的方法。これは、フロイト、ユングによって精緻化され集大成された（1章、2章）。レム睡眠の発見で、一躍、夢研究の主役に躍り出た、認知神経科学的方法。その先端はすでに分子生物学の領域に達しつつある（3章、5-7章）。また、レム睡眠の発見とほぼ同じころに始まった夢の統計学的研究は（4章）、目立たないが地道にデータを積み重ねて、夢の進化理論の基礎を提供している（8章）。さらに第9章では、明晰夢を文化進化の面から考察した。／そして、終章として、夢の現象学を置いた。これは、夢を夢でないものによって説明するのではなく、現象世界と対等なひとつの世界として夢世界をありのままに理解することで、その固有の法則を探求しようという試みである。」（「あとがき」）

・9章 明晰夢実験（夢から現実へ眼球運動等の合図で交信）に成功。自意識尺度との有意な相関。明晰夢と世界への存在論的懐疑の発祥との関連仮説。

・終章 夢は「世界」であり、現実世界と異なる原理と法則とが支配している「異界」である。夢の神秘に近づくためには、夢という異界を異界にしている原理と法則を知る必要がある。⇒現象学的方法⇒夢世界の原理の探究⇒『夢の現象学・入門』↓

III 『夢の現象学・入門』（渡辺、2016、講談社選書メチエ）

・現実世界と夢世界の体験構造（現象学的構造）の違いを志向性論で図解（p. 34-35）

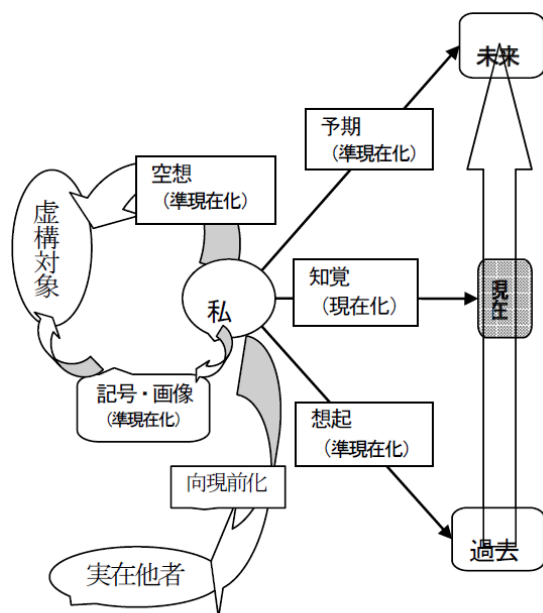


図1-2 現実世界の体験構造

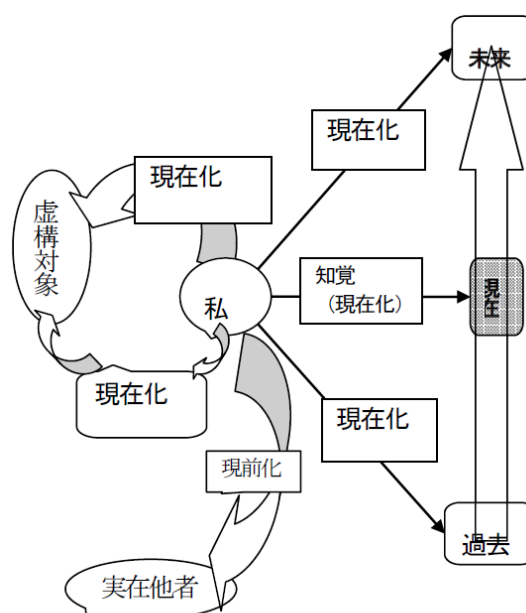


図1-3 夢世界の体験構造

表 2-1 フッサール現象学における志向性の種類 (p. 39)

志向性の種類	意識の様相	解説
現在化(Gegenwärtigung)	知覚・原印象	知覚的現在は瞬間ではなく一定の拡がりを持つ。たとえば、ベートーベン『運命』の冒頭、ジャジャジャーンというメロディの一節で、三番目のジャが原印象だとすると、それ以前のジャジャは想起せずとも現在に留まっている過去把持であり、最後のジャーンは思い描かずとも自ずと知覚的現在に現われる未来予持である。詳しくは第 6 章参照。
(共現在化)	知覚・過去把持	
(共現在化)	知覚・未来予持	
準現在化 (Vergegenwärtigung)	知覚以外	ドイツ語 vergegenwärtigen は、日常語としては「ありありと思い浮かべる」と訳される。現に今それと相対していないような対象を思い描く作用。
(定立的) 準現在化* *準現在化の中でも、空想と異なり、存在した・している・するだろうという確信をもって思い浮かべることが、特に定立的準現在化。	予期（将来想起）	明日予定されている会議の光景を思い浮かべる等。未来予持に比べて能動的な作用。
	(再) 想起	昨日のコンサートの情景を思い浮かべる等。過去把持に比べて能動的な作用
	現在想起	外から家の内部を思い描く場合のように、実際に知覚することなくして、現在存在しているものとして思い浮かべる。
(非定立的) 準現在化* *準現在化の中でも、空想のように、実在の信念なく思い浮かべること。	空想	一角獣のような虚構の対象を思い浮かべる。
	記号・像意識	読書で文字を記号として物語の中に入り込む。／絵をある人の肖像として見る（画像であって実物でない以上、その人の実在非実在にかかわらず非定立的）。
向現前化 (Appräsentation)#	他者経験	他者を他の主観として経験すること。他者の主観的経験を意識的無意識的に思い描くことも含まれ、「感情移入する準現在化」とも称される。定立的準現在化の一種であるが、時間軸上で現在化することは決してない。
現前化(Präsentation)	知覚	向現前化に対比させて現在化を再定義した語。ほかならぬ私の知覚。

#Appräsentation は、Ad(に向かって) + Präsentation の意であり、『現象学事典』では「付帯現前化」、『デカルト的省察』の船橋訳では「間接呈示」、浜渦訳では「共現前」と訳されているが、ここでは「向現前化」と訳した。日本語の語感として、他者の実在を確信して現前化に向かいながらも決して現前しないという、もどかしさが伝わると思うから。

・夢世界の原理

現実世界では、想起・予期・想像などの「思い浮かべる」志向的意識は二重構造を備える。「思い浮かべられた当の対象像」と、「思い浮かべているに過ぎない」という暗黙の気づきと。夢世界では、この暗黙の気づきが消滅して、二重構造が一重になる。ゆえに、過去や未来や架空存在を思い浮かべると、「思い浮かべられた当の対象像」だけになってしまう。つまり、それらを「現に知覚している」のと同じことになってしまう。(p. 41)

- ・第 11 章 漱石『夢十夜』の現象学的分析・覚書⇒作品の夢から夢の原テキスト復元。
- ・エピローグ 夢の現象学は当事者研究。夢日記の勧め。他者の夢も自己の夢として読む「一人称的読み」(エポケー読み)。

IV「他者になる夢の現象学的解明：フッサール志向性論に基づく主題分析」（渡辺、印刷中）

・現象学的解明—「なぜ夢の中では他者になることができるのか？」の問いに現象学的に答えること。「なぜ」に答える3種の様式。

1. 説明する (explain; 独:erklären) — 個別事象を一般法則に包摂すること。これによって、過去へ向かつては「原因による説明」が、未来へ向かつては「予測」が、可能になる。
2. 理解／了解する (understand; 独:verstehen) — 「理由」によって説明する。「彼女が窓を開けたのは部屋が蒸し暑いからだ」というのが、理由による説明である。
3. (現象学的に) 解明する (clarify; 独:aufklären) — 個別的现象を、現象のより基底的・普遍的な構造の一例として位置づけること。ここでは、夢世界の原理という夢現象の最も基底的な構造の一例として、個々の夢事例を位置づけること (p. 30 原文を微修正)。

・データ。夢日記ブログ 99 (自己) 事例から、「他者になる夢」事例の 15 例を抽出。

・解明の手順。夢世界と現実世界との志向性の構造の違いを抽出するために、夢が現実可能なように想像的変更を行い、「現実テキスト」を作成。夢と現実とで各々作動中の志向性を抽出。現実での志向性が夢での志向性へ変容することとして、「なぜ」に答える。

表7 想像的変更を逆向きに辿ることによる解明 (p.24)

他者の種類	夢テキスト	現実へ想像的変更されたテキスト
虚構他者	現在化 「新幹線で金田一耕助が いるのを見ているうちに 金田一耕助になった。」	準現在化 ①「新幹線で実在しない『金田一耕助がいるのを見ているうちに、金田一耕助になった』と想像した。」 ②「『…と想像しているに過ぎないこと』を私は知っている。」
実在他者	現前化 「キャンパスで F 教授が いるのを見ているうちに、 F 教授になった。」	向現前化 ①「キャンパスで実在する『F 教授がいるのを見ているうちに、F 教授になった』と想像した。」 ②「『…と想像しているに過ぎないこと』を私は知っている。」 ③「私がなっていると想像している F 教授とは独立に、F 教授は実在することを、私は知っている。」

・解明の結果：「虚構他者」の場合。「『になった』と想像する」という志向的二重構造

(①+②) が『になった』と一重化することが「なぜ他者になることができるか」の答。

・反則例？：「実在他者」の場合。現実界の志向的三重構造 (①+②+③) が一挙に一重化するのなぜ？

・K. Held(1972)によるフッサール間主観性論の内在的批判を基に、志向性表を部分改訂。

表9 表1の最下段の改訂 (p. 26)

志向性の種類	意識の様相	解説
向現前化 = 「非定立的準現在化」×「定立的準現在化」* *「×」は協働を表す。以下同。	他者経験 = 「空想」× 「想起・予期」	自分はその他者であるという空想と、いつかその他者であるという時間軸上の準現在化の協働作業が他者経験 (ヘルト, 1986)。

・夢世界の原理によれば、空想も時間軸上の準現在化もことごとく夢で「現在化」する。

故に、両者の協働である向現前化対象 (=実在他者) も「現在化」する。

故に、夢世界では虚構他者だけでなく実在他者へも変身しうる。

IV 科研費研究「夢の現象学」に参加することによって立てられた新たな目標

フッサール志向性論に基づき「他者になる夢*」の現象学的解明を行ったところ、「虚構他者」については成功したが、「実在他者」に関してはヘルトによるフッサール他者論への批判を取り入れ、志向性論を部分改訂しなければならなかった。

明晰夢の現象学的解明（「さしたる理由もなしに突然夢と自覚できる」（e. g. Thompson, 2015, p. 141）のはなぜか？）という問題においても、そのようなフッサール理論の改訂が必要になるだろうか。

* Maury (1863)に、紀元5世紀の「他者になる夢」事例を発見(p. 235f)。

———当日(6/28)の補足———

「なぜ夢だと自覚できるか」を問うための準備考察。

A 目覚めの世界において、突然リアリティを疑うという幾つかの類型

A-1)トウルーマン・ショー症候群 映画『トウルーマン・ショー』で主人公は、何もなかった壁が突然開いて大勢の見物客が一瞬見える等の不条理な出来事によって、世界のまがい物性に気づく。⇒物理的反則事象

A-2)小公女セイラ症候群 物置に寝起きしていたセイラは、信じがたい幸運の訪れで恵まれた生活に変わっても、翌朝にはまた物置で目が覚めるという気がする。⇒心理的反則事象

A-3)「かれら」症候群 ハイラインのSF『かれら』では、主人公は(精神病院の入院患者)、自分を中心に世界が同心円状に広がっているのは何故かを問い、自分が唯一の真の人間であることを気づかせないための陰謀がこの世界であることに気づく。⇒超越論的自我の気づき

A-4)デカルトの夢。一切を疑ったあげく、現実が夢ではないことを証明する方法がないと気づく。⇒超越論的自我の気づき

D 夢の世界に居て、夢と気づく幾つかの類型

なぜ夢だと気づいたか:聴取データ6名計 13 回の分類(東邦大学卒業研究報告より)

@なぜ夢と気づいたか分からない(7回)
・気分的にもややしてて、何か寝ているなと思った。
・何か実験をしている夢で、その場所を外から見ている感じだったので、おかしいな?と思った。
・いつも夢と分かるから、最初から夢だと思って見ていた。
@夢と気づいた理由がある。
・海にいるところが空を飛んでいたもので、そんなはずはないと思い夢だと気づいた。
・バスでMAX4人とそのマネージャーが乗っていて、話していた。バスに芸能人が乗っていたので、そんなはずはないと思って夢だと気づいた。
・風が吹いていて寒そうなのに、海の中に人はいるし、私は凄く暑かったから、夢かも知れないと思った。
・回転寿司を食べたが、なんとなく寿司が出てくるわけがないと思い夢だと気づいた。
・高橋尚子が出てきて、現実離れしているから夢だと気づいた。自分だけ見ているところで位置(視点)が違った。

以上の理由は、物理的 or 心理的反則事象の範囲内? 超越論的自我の気づきを想定する必要はない?